**平成28年度ものづくり基盤技術人材育成支援事業**

最大実体公差方式の解釈とその測定技術の実践

本コースは最大実体公差およびその関連方式を正確に解釈し、「機能ゲージ」を使った測定実習

を通してポイントを習得することができます。品質保証・測定技術者だけではなく機械設計者にも

必見のコースです。

※三次元測定器は使用しません。

・日程：平成２９年３月１４日(火)、３月１５日(水)

・受講時間：9：00～17：15（休憩45分）

・受講料：３，０００円（工業会会員は２，０００円で受講できます。）

・実施会場：東北能開大青森校（五所川原市大字飯詰字狐野171-2）

|  |  |
| --- | --- |
| **教科項目** | **教科細目** |
| 公差表示方式の基本原則と幾何公差の解釈 | (1)独立の原則とテーラーの原理 (2)幾何公差の種類と定義 (3)幾何公差の図面指示と測定誤差 |
| 最大実体公差方式（MMR） の解釈と関連技術 | (1)最大実体公差の原理 (2)最大実体公差の図示方法とその解釈 (3)機能ゲージについて (4)検証方法および合否判定方法 |
| 機能ゲージによる測定実習 | (1)機能ゲージによる測定実習 (2)三次元測定機による測定実習 (3)機能ゲージ設計のノウハウとその問題点 (4)評価と考察 |

【講師】ＣＤＴ研究所　中村哲夫 先生

株式会社ミツトヨにて長年にわたり、精密測定システムの研究・開発に従事。

同社退社後、長野県にて『ＣＤＴ研究所』を設立。

都道府県工業技術センターや公共職業訓練施設などで、精密測定理論や幾何公差・測定技術に係る

「ものづくり技術者」の教育・育成に従事しています。

《著書》現場で役立つ幾何公差の測定評価テクニック（日刊工業新聞社）

**※参加者が５人以上申込あった場合に、**

**「ものづくり基盤技術人材育成支援事業（オーダーメイド）」として開催いたします。**

****

（申込先）**一般社団法人青森県工業会事務局**

　　　　　　　〒030-0801　　青森市新町2丁目4-1　県共同ビル7階

　　　　　　　電話　017-721-3860　　ＦＡＸ　017-723-1243

Ｅ－ｍａｉｌ　　info@aia-aomori.or.jp

**平成28年度ものづくり基盤技術人材育成支援事業**

**最大実体公差方式の解釈とその測定技術の実践**

**・日程：3月14日(火)、3月15日(水) 2日間**

**・受講時間：9：00～17：15（休憩45分）**

**・実施会場：東北能開大青森校（五所川原市大字飯詰字狐野171-2）**

**・定員：10名（定員になり次第締め切り）**

**・受講料：3,000円（工業会会員は2,000円で受講できます。）**

**・申込締切：2月28日（火）**

**・キャンセル：教材購入の都合上、7日前までとします。それ以降は受講料をお支払いいただきます。**

**・持参物：筆記用具**

**※参加者が５人以上申込あった場合に、**

**「ものづくり基盤技術人材育成支援事業（オーダーメイド）」として開催いたします。**

※下記の業種に該当する企業の従業員が受講対象となります。

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 |  |
| 住　　　所 | 〒 |
| 業　　　　　　　　種 | ※該当する業種（標準産業分類の中分類）にチェックを入れてください。□化学工業、□プラスチック製品製造業、□鉄鋼業、□非鉄金属製造業、□金属製品製造業、□はん用機械器具製造業、□生産用機械器具製造業、□業務用機械器具製造業、□電子部品・デバイス・電子回路製造業、□電気機械器具製造業、□輸送用機械器具製造業 |
| 受講者名 | 【職名】 | 【氏名】　　　　　　　　　　【年齢】 |
| 【職名】 | 【氏名】　　　　　　　　　　【年齢】 |
| 【職名】 | 【氏名】　　　　　　　　　　【年齢】 |
| 担当者連絡先 | 所属部署 |  | 氏名 |  |
| 電話番号 |  | ＦＡＸ番号 |  |
| Ｅ－ｍａｉｌ |  |

◆講座の内容に関することの問合せ先

　　青森職業能力開発促進センター　担当：伊藤　TEL 017-777-1234

**◆講座の内容など詳細に関すること**

**■東北職業能力開発大学校青森校**

**〒037-0002　五所川原市大字飯詰字狐野171-2**

**TEL　０１７３-３７-３２０１ 　 FAX　０１７３-３７-３２０３**